

せたがや 町総連だより

第 62 号

発行 世田谷区町会総連合会
世田谷区若林 4-31-9 ポライト第2ビル202
☎・FAX 03-5481-3456
発行人 会長 鈴木 賢 治
編集 情報誌編集委員会
編集委員長 堀 江 義 之

あけましておめでとうございます

世田谷区町会総連合会 会長 鈴木 賢 治



会員の皆様におかれましては、新たな年を健やかに迎えられたこととお慶び申し上げます。

世田谷区町会総連合会の事業につきましては、日頃より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

各町会・自治会では、盆踊りやお祭りなど多くの催しが行われて街に賑わいが戻り、「コロナ禍」という言葉はもう過去のものになった感があります。ですが、このコロナ禍で高齢化や担い手不足など、様々な課題や悩みがより顕著になりました。

192も町会・自治会があれば、課題や悩みも多種多様だと思います。一朝一夕にはいかないこともあると思います。ですが、様々な課題に対し、引き続き各町会・自治会の皆様方と相互に意見交換を行いながら、

行政との連携を図ってまいります。

さて、町会・自治会の活動は、高齢者や障がい者、子育て世代など様々な住民にとって安全で安心な街づくりに繋がっています。

近い将来発生が懸念されている自然災害など、いざという時に助け合うためには、私達住民同士の日頃からの協力が不可欠です。

今年も当総連合会は、会員相互で助け合い、「知り合い」「ふれあい」「支えあい」の理念のもとに、さらに住みよい世田谷を目指してまいります。

結びにこの1年の皆様のご健康をお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

新年挨拶

旧年中は区政の推進にあたり、多大なるご尽力をいただきまして、誠にありがとうございました。

町会・自治会の皆様におかれましては、様々な取り組みで地域を支え続けていただき、厚く御礼申し上げます。まちづくりの中心的な役割を果たす皆様の活動は、欠かすことのできない世田谷区の地域コミュニティの基盤です。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

昨年は、区内で短時間集中的な豪雨がありました。幸い人的被害はありませんでしたが、道路冠水や床上浸水、床下浸水の被害が発生しました。区では、平成25年の集中豪雨による浸水被害を教訓として、いつでも持ち出せるように「土のうステーション」を設置しています。また、地下水等への浸水防止には止水板が有効です。

世田谷区長 保 坂 展 人



令和6年度は在宅避難を念頭に置いた「防災カタログギフト」という取り組みを実施し、令和7年度は

「マンション防災共助促進事業」を実施しました。マンションは耐震性・耐火性の高い建物が多く、自助共助による在宅避難の可能性があります。マンション内で住民同士が助け合いながら町会・自治会と連携することで、住民同士が助け合える体制を強化できるよう、引き続き地域防災力の向上を図ってまいります。

結びに、世田谷区町会総連合会の益々のご発展と、会員の皆様にとりまして健康で幸多き一年になりますことを心からお祈り申し上げまして、新春のご挨拶とさせていただきます。

玉川地域

桜新町親和会は2026年100周年を迎えます

桜新町親和会 会長 岩尾 充彦

桜新町親和会（桜新町1丁目、新町1・2丁目、深沢7・8丁目の各々一部がエリア）は、桜並木が美しい閑静な住宅街を中心とした町会で、今年100周年を迎えます。これまで『親和会だより』の発行、ゴミゼロデー、放水訓練、落語会、こどもまつり、ポッチャなど多様な活動を通じ、安心・安全で住みよいまちづくりに取り組んでまいりました。

100周年を記念し、3年前に実行委員会を立ち上げ、HP・Instagramの開設、掲示板のリニューアルなどを実施。特に、今年12月まで継続する『100人カイ

ギ』は、毎回5人による自己紹介の場として、地域の住民同士が深く触れ合える貴重なコミュニティの場となっています。その他、今年10月開催予定の記念イベントに向けた検討も重ねております。

この節目にこれまでの100年を振り返りつつ、これからの10年、20年を見据えた活動を進めていきます。地域の皆さま同士がふれあい、さまざまなコミュニティを形成することで、より一層の安心・安全なまちづくりを実現できるよう努めてまいります。



桜新町親和会「こどもまつり」



「桜新町100人カイギ」登壇者と参加者

砧地域

街角コミュニティ

祖師谷第5自治会 副会長 安藤 清孝

駅のホームでウルトラマンのテーマ曲が流れる小田急線祖師ヶ谷大蔵駅を降りると、すぐの所にウルトラマンの像があり、子どもたちが親子連れで写真を撮っています。そこから北へ向かって祖師谷4丁目と5丁目の一部に254世帯の当自治会があります。

さて、当自治会の活動では約月2回、地域の子どもの見守りのごみ拾いや掃き掃除を行い、地域の安全・安心に努めています。

防災に関する研修では、防災士から災害時において自宅で用意する物や行動などを教えていただき、研修当日はかなりの人数が集まり一同勉強になりました。また、マンションの一室に地域の人々が集まり自治会のコミュニティとして、茶話会（近所の世間話やちょっとしたゲームや歌）をしています。

自治会の課題は、防災や消火活動などの訓練は行ったけれど、いざ火災等になった時に力となってくれる若者達が少ないことです。現在の若者達は共稼ぎで職場に行き、学生は学校に行っているため、地域に残った人々は高齢の方となります。いざ消火器を使う時やスタンドパイプを使うためマンホールの蓋を開ける時に重くて持ち上げられないので、自治会に若い人々にも入会してもら

うよう勧誘活動をしていきたいと思います。



祖師ヶ谷大蔵駅前広場のウルトラマン像



茶話会の様子

烏山地域

これからのあやめ会

あやめ会 会長 長谷川 剛

あやめ会は世田谷区北烏山4丁目内にあり、世帯数44というとても小さな町会です。しかしながら、だからこそできる、きめ細やかな相互扶助の精神を大切に活動しています。

当町会は、長きにわたり地域を支えてこられた方々が多く、高齢化が進んでいる一方で、最近は若い世代も引っ越しをしてきているという変化に直面しています。

このような中で、情報伝達においては、多様な手段を組み合わせることが重要であると考えています。

- ・一部の世帯とは、スマホアプリのLINEを活用して迅速に情報を共有しています。
- ・SNS「いちのいち」も併用し、情報発信を行っています。



防犯カメラの設置

- ・しかしながら、すべての方に情報が行き渡るよう、これからも回覧板という昔ながらの伝達手段を大切に、人と人との繋がりを意識した活動を続けてまいります。

また、地域の安全、防災、そして世代を超えた交流は、当会の活動の柱です。

- ・防犯対策の強化：地域の安全を守るため、新たに防犯カメラ2台を設置し、犯罪の抑止と見守りを強化しています。
- ・防災体制の整備：地域の共同の財産である防災倉庫の備蓄品を年に一度点検し、皆様の命を守るための体制を整えています。
- ・世代間交流と支援：敬老の日にはお菓子を配付し、長寿のお祝いと日頃の感謝をお伝えしています。また、未来を担う子どもたちへの支援として、こどもの日には図書カードを配付し、学びを応援しています。

小さな町会だからこそ、顔の見える関係を大切に、安心できる地域づくりに尽力してまいります。引き続き、あやめ会へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

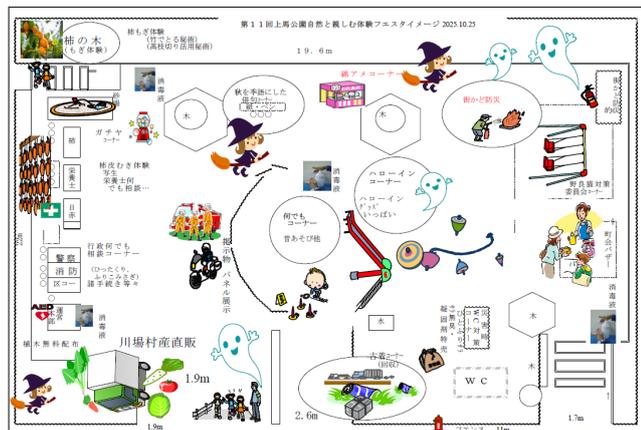
世田谷地域

上馬東町会の紹介

上馬東町会 会長 安田 稔 男

当町会は、上馬1丁目、三軒茶屋1丁目の一部、野沢1丁目の一部、下馬2・3丁目の一部。まちづくりセンターも3所に分かれています。国道沿いは高層マンションやビル群、その他は災害指定の木密地域が大半。町会事務所中心に15部50数班体制で「顔の見える町会」（知り合い・ふれあい・助け合い）スローガンのもと毎月の役員会・月2回の機関誌発行で活動を推進しています。主な活動は9つです。①毎年「上馬公園自然と親しむフェスタ」を開催。柿もぎ体験、初期

消火訓練、災害時WC対策、リサイクル、昔遊び、何でも相談コーナー等楽しみながら役に立つ催事で、800名前後の参加者が集います。②防災訓練は誰でも参加することができます。高層マンションや事業所・集合住宅・戸建等への座学（オンライン参加可）と町会防災無線を活用した分散発災対応型訓練を行います。③AED研修 ④健康セミナー ⑤365日活用できるリサイクル（缶・紙・衣類） ⑥地域支援事業 ⑦緑化推進 ⑧町会加入推進 ⑨青少年育成運動を行っております。



「上馬公園自然と親しむフェスタ」



「上馬公園自然と親しむフェスタ」でのリサイクル活動

北沢地域

地域のつながりを大切に 誰もが参加できる町会へ

代田東町会 副会長 新澤 千佳子

ドラマ「silent」で注目を集めた小田急線世田谷代田駅。その駅を挟んで広がるのが代田東町会です。代田5丁目全域と2丁目の一部が所属し、東は下北沢、西は環七に面した地域です。

時代の流れとともに町会行事は縮小傾向にあります。代田東町会最大の行事である「代田納涼おどり大会」は、地域で続けられてきました。コロナ禍では中止を余儀なくされましたが、他地域の方々とともに盆踊りの練習を続け、2023年に見事復活。準備から片付けまで地域にかかわる多くの人々に助けられました。昨年も子どもから年配の方、海外の方まで、代田小学校和太鼓クラブの演奏とともに夏の夜を楽しむことができました。

町会活動は一部の人の力では続きません。誰もが関わり、顔が見える関係を築くことで、地域のつながりが強くなると感じています。これからも「参加したい」と思える町会になることを願い、活動していきたいと思っています。



賑わう夏の夜、納涼おどり大会

町総連ニュース

表彰

- 令和7年10月1日 東京都功労者表彰【地域活動功労】
・岡庭 茂行 元理事 (元桜丘町会会長)
・鈴木 喜代志 理事 (上北沢1丁目自治会会長)
令和7年11月12日 社会福祉事業功労者に対する厚生労働大臣表彰
・吉村 俊雄 常任理事 (協和会会長)
令和7年11月21日 秋の叙勲 瑞宝双光章【地域総合功労】
・鈴木 賢治 会長 (宮坂1・2丁目町会会長)

◎町総連情報誌編集委員会名簿

Table with 3 columns: 役職名, 氏名, 所属町会・自治会. Lists committee members including 堀江 義之, 網敷 光剛, 高橋 宗和, etc.

編集後記

世田谷区は広く、世田谷区町会総連合会に加入している町会・自治会が190以上あるそうです。その中で、この度町会総連合会より委嘱を受け編集委員となりましたが、いきなりの編集後記担当ということで、何を書いてよいか戸惑いました。

今まで手元に届いた『町総連だより』を読む側から編集する側となり、地域や町会・自治会によって状況に違いがありますが、実に様々な取り組みや工夫をされていることを改めて実感しました。と同時に、“つながり”をどのように持つかは異なりますが、“つながる”ことの大切さはどんなに時代が変わってもどの町会・自治会にとっても不変だと思いますので、この『町総連だより』をお読みいただいて、活動されるヒントになれば幸いです。

編集委員 権田 邦子

世田谷区町会総連合会のホームページ

世田谷区町会 検索

※二次元コード



スマートフォン等で読み取って、簡単にホームページを見ることができます。